

年 度 評 価 シ ー ト

課名 福祉総務課

施設の名称 静岡市清水社会福祉会館	指定管理者名 社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会
1 履行状況	
(1) 目標達成 5年後（令和7年度）の年間利用者数 目標値 65,000 人、実績値 73,942 人（前年度 82,139 人） 達成率 113.7% （前年度比 90.0%） 指定管理期間中の利用者数の推移 令和3年度 実績値 51,347 人（達成率 79.0%） 令和4年度 実績値 73,557 人（達成率 113.2%） 令和5年度 実績値 76,889 人（達成率 118.3%） 令和6年度 実績値 82,139 人（達成率 126.3%） 令和7年度 実績値 73,942 人（達成率 113.7%）※再掲 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 48,924 人 (2) 施設利用状況 稼働率 大会議室 32%（前年度 37%） 中会議室 36%（前年度 42%） 調理実習室 14%（前年度 10%） 機能訓練室 27%（前年度 39%） 多目的ホール 50%（前年度 49%） (3) 人員配置状況 施設長 1 人、経理・管理担当 1 人、受付・事務担当 1 人 (4) 業務実施状況 静岡市清水社会福祉会館条例に基づき、施設の管理等について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業と参加者数は以下のとおり。 ア 会議室貸出状況 ①大会議室 件数： 239 件 利用者数： 6,762 人 ②中会議室 件数： 290 件 利用者数： 5,397 人 ③調理実習室 件数： 110 件 利用者数： 1,202 人 ④機能訓練室 件数： 247 件 利用者数： 4,210 人 ⑤多目的ホール 件数： 418 件 利用者数： 12,631 人	

合計 件数：1,304 件 利用者数：30,202 人

イ 社会福祉資料室運営状況

社会福祉、地域福祉に関する図書や定期刊行物等を整備し、貸出を行った。
来館者数 1,182 人、貸出図書 344 冊、貸出ビデオ・DVD 0 本
所蔵図書 5,526 冊、ビデオ・DVD 数 150 本

ウ 利用者の安全確保に関する取組

防災講習会 令和 7 年 10 月 30 日（木）参加者 7 名
防災訓練 令和 8 年 3 月 19 日（木）参加者 30 名
AED 研修 令和 7 年 8 月 18 日（月）参加者 14 名

エ 社会福祉団体等の活動のための施設の提供に関する取組

「ボランティアウィーク 2026 in はーとぴあ清水」の開催
開催日：R8.2.9～R8.2.21 参加者数：143 人 参加団体：32 団体

オ 社会福祉の増進を目的とする取組

はーとぴあ清水の福祉施設と福祉活動を行うきっかけづくりを目的に
区内の小中学生を対象としたクイズラリー、一般市民への社会福祉に
関する広報、啓発を図ることを目的とした災害講座などを、「はーと
ぴあ福祉ゼミ」として開催した。

第 1 回 令和 8 年 2 月 14 日（土）参加者 7 人
「はーとぴあクイズラリー in ボランティアウィーク 2026」
第 2 回 令和 8 年 2 月 21 日（土）参加者 53 人
「能登半島地震に学び、地域の支え合い力を高めるために」

【検証・分析等】

実施事業のうち、「ボランティアウィーク 2026 in はーとぴあ清水」について、昨年度と同様にボランティアへのきっかけづくりを目的としたボランティア活動体験会やボランティア講座・研修等、前年度の参加者から寄せられた意見を反映した内容に充実させて実施しており、当指定管理者の創意工夫が見られた。

そのほか、防災訓練や AED 研修の実施等、利用者の安全確保に向けた取組についても積極的に実施し、安心・安全に利用できる施設づくりに努めた。

年間利用者数については、令和 6 年度はコロナ禍で取り組めなかったことを再開したことで利用者が増加したが、令和 7 年度は同様の取り組みも 2 年目ということもあり利用者が減少している。ただし、目標値は達成できている。今後も、需要の高い事業の開催や情報発信等、利用者数の維持・利用者の増加に向けた取組に期待したい。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

意見等：駐車場が少ない

対 応：所管課と相談し対応策を検討していく。

【検証・分析等】

利用者から意見や要望に対しては、すぐに対応できるように、対応責任者を置くとともに、対応を検討するための組織（苦情解決委員会）を設けており、良好な体制がとられている。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、または改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

（１）利用者満足度調査

施設の利便性や利用に関する満足度等の現状を把握し、施設の管理運営に活かすため、施設利用者と入居団体職員を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

① 施設や設備の使いやすさ

回答者総数：267件（無回答は外す）

「使いやすい」「やや使いやすい」と回答した人数：253件

満足度：94.7%（前年度90.9%）

② 職員の応対

回答者総数：279件（無回答は外す）

「満足」「やや満足」と回答した人数：275件

満足度：98.5%（前年度98.9%）

【検証・分析等】

2項目の平均値で算出した満足度は96.6%（前年度95.0%）であり、すべての項目が高い水準で良好な評価を得ている。なお、無回答だった分を母数から除いて算出している。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

（２）市民アンケート

施設の認知度や福祉に関するニーズ等について調査し、今後の事業実施や情報発信等に活かすため、地域住民を対象としてアンケート調査を実施した。

施設の認知度について

回答者総数：298人

当該施設を知っていると回答した人：244人

認知度：81.8%

【参考：昨年度】

回答者総数：174人

当該施設を知っていると回答した人：137人

認知度：78.7%

アンケート項目

- ①当該施設を知っているか、また、利用したことがあるか
- ②当該施設に対するイメージ
- ③①で利用したことがない場合、その理由
- ④実施してほしいイベントや講座
- ⑤当該施設以外でよく利用する場所

【検証・分析等】

認知度については昨年度と比較して約3%増加しており、指定管理者による情報発信等の成果が発揮されたものと評価できる。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

（3）その他の調査

【確認結果】

－：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務の収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況については、主に人件費が2割強増加し、施設費は5%程度減少している。全体としては、前年度と比べ約3%程度減少している。人件費については、職員の勤務体制の見直しにより昨年より増加しているが、複合施設として、利用者の増加につながる配備体制の調整を行った結果である。また、施設費については、老朽化で修繕箇所も増加し、また、物価高騰の影響もある中で指定管理者の努力により経費の圧縮につながったことによるものである。指定管理者として効率的で適正な運営がされている。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っている。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い良好に実施されている。

年間利用者については、年々増加し、目標値も達成している。これは、日ごろの運営や情報発信、他団体との連携等、指定管理者が努力している結果であり、高く評価できる。業務については、ボランティアウィークにおける実施内容の拡大やボランティアを始めたいがどうすればいいか悩んでいる方向けに講座を開催することで、ボランティア活動の普及に努めたほか、防災訓練やAED講習会等、施設を訪れた人が安心・安全に利用できる施設づくりを行うなど、社会福祉の増進及び利用者数の増加に向けた指定管理者の創意工夫が見られた。

当施設は、開館から20年以上が経過し、設備や備品等の不具合・故障等が目立ち、それらの修繕に必要な部品調達も困難な状況となっている。限りある予算の中で計画的な設備改修・修繕に取り組み、利用者の安全の確保と、利便性を図りながらサービス提供ができるよう、行政と状況を共有しながら施設管理に努めていただきたい。

全体としては良好な管理運営であったと判断し、○とした。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。